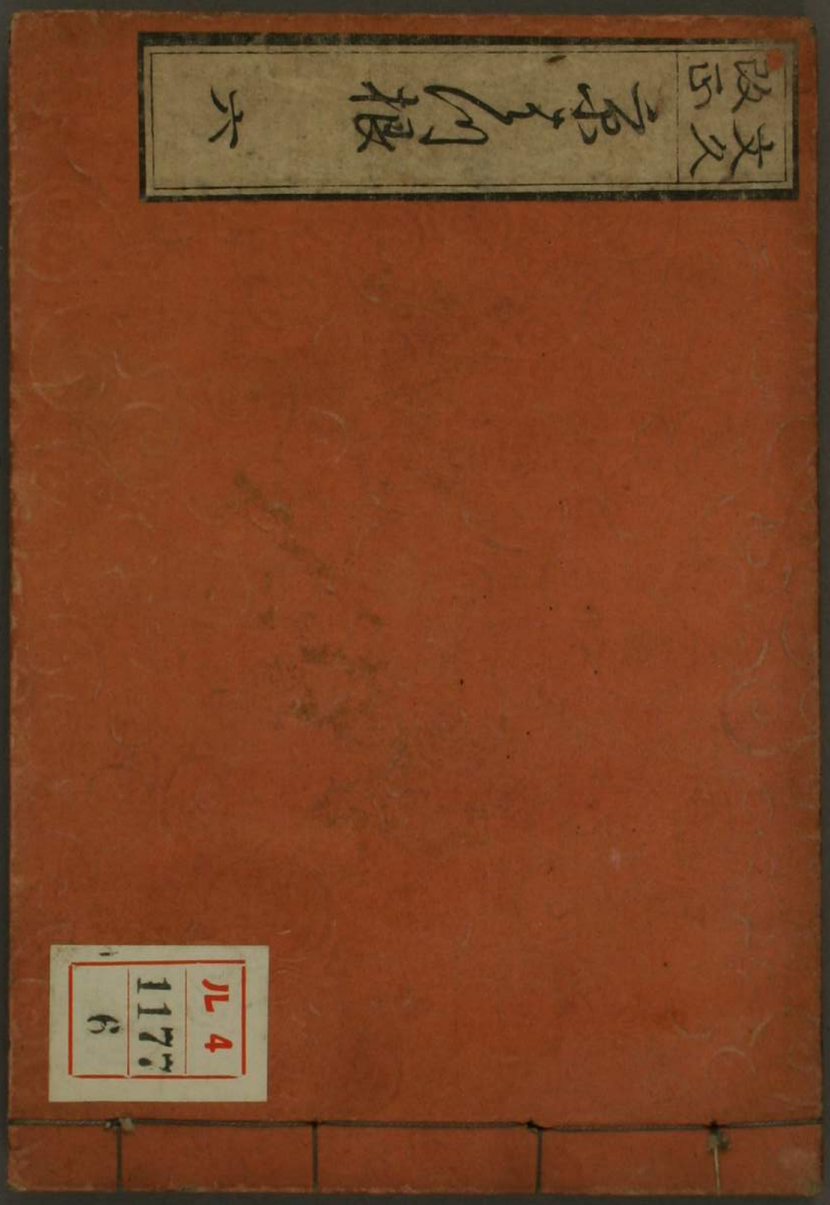
KODAK Color Control Patches © The Tiffen Company, 2000
Kodak LICENSED PRODUCT
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



陽 4
1177
6

○醫王山光福寺金藏院 号ニ藏王堂 久世

寺名ハ窟淨律師ノ学ル所ニシテ天暦年
間ニ慶滋保胤ノ発願ニ依リ其ノ師ノ天台
山ニ入リ其ノ像ヲ作リ彼山ノ薬師ノ
寶冠ヲ象テ法師ニ授ケ法師ハ之ヲ
現ニ忍ビテ現ル所ノ如キ不思議
法師ハ之ヲ神物トシテ今汝
那ニ永ク保ツ
ノ如キ生ハ生ンヲ新ル
ヲ見ル事ハ人道ヲ為テ
本像ヲ作リ

此地にいたれバ龍王の尊像大石
のごとくにして動きたまハずといへども
有縁の地なりと悟り草堂
をむすびおはしけるに其夜西の
方に光りさしける柳生じ又比丘天
老翁とあらはれ此柳に向ひ
弁才天医王善逝と唱へて
消えうせたりこれをしてバ翁云
弁天影隣の地なり今何ぞ
こゝに法師此地に来りたまふ
よく仏閣を建て安置せバ
利益広大ならんと告げて
去りぬまたかくの尊容を
草創しより一宇を建て像

あるよしをしらるゝなん

葛野郡桂の西川島ニあり

○久遠寺　号二西山浄福一

西京本山本圀寺の隠居所なり従
宗祖三代日像上人の開基建立
別上人の開創当寺の縁を誘り毎
年八月廿日より廿一日迄縁日桃鈍
なり当寺境内ケチケチくの面
よふそのいり早の日上人此
面を祈りて雨を乞へバ忽ち験
ありとぞ一と世に京都本寺
納りしに震動して止む
ゆへに元のごとく納む又当村供養
あるものハケチケチくと呼びて云ふもの

のて出家ありしとなり

○大枝山大福寺　日山城丹波の境峠まであり
宇治名天台宗　佐岐の地蔵と云
の絵と　菩提寺　堅牢地神の祠絵を
て死を哀傷の涙の川辺の川辺より成
仏して修行永く親ざんを救うと
誓ひて地蔵菩薩を勧請をもの傷ましき
を見の傷ましき柏の
樹りて蔭ありしかくこそ
地蔵なり

○志乃宮寺　日美濃室の山上あり
宇治名法華宗　本尊聖観音

余慶法大師作なり　えんぎの記
より二十余年中こ
妙行寺　土一世日通上人再興
日美濃室山の中あり

○美濃室山浄住寺
宇治名　英雄流本尊如意輪観音
七八寸　天皇仏ていて浜牛和尚感
仏の尊像こえ　仏像こえ縁
を浜牛再建して福利とす

○西芳寺　日桑室にあり　松の尾の南
宇治名　臨済宗　竹林院一室後
左子の門徒　行基菩薩
芳想法師中興　無上方丈の庭ハ

國作の仏ありて宗門の高僧風
光澄明なることを九人の論ずる
所なり次

○最福寺　日松の尾の西松室村
宗旨浄土宗　あり
開基延朝上人なり

○慈厳寺　日月潭の西苔村の
山地八景の内延朝上人住ありし
竹林の中山を背
所なり詩の句に風潭和尚再
建して新の尾安置と称して
慈厳寺と名づけ山和尚の
碑堂世人知ることなり

○大梅山長福寺　日天梅津村にあり
宗旨禅宗　寺伝云慈
のまま創して開基を月林大幢
開作なり

○法生寺　日を奉のも
宗旨禅宗　竹林中にあり
浄山禅師開基　破車ふ云て
京ふ市中と往来次世の人
車作なりて又七百年の年歴
の車と評する所ふ七百年を経る
とも知もあり当寺開て
今寺庵の三世ふ伝なり

○大秦廣隆寺（うづまさ）　日うづまさ村にあり　ちん護名
寺号を蜂岡寺と号す本尊
薬師如来八向月明神の社殿を安置す
ことし年御あり向日明神の社あり
喬昊あまりあり日呉人来り
此所を代 薬師仏を作りて安置
神殿へ入てありしに斉人忍感じ
てはちの像を大ぶちの名盛法
泊ふ安く天感ありく新も
を泊溜泊丹泊をる所ちを稿え
を以法和帝勅して尚寺の
本尊とありたまふ。當寺八上
古推古天皇十二年八月太和国

蛙蛉宮（いうかがのみや）にて聖徳太子の御
ゆめに見よう遥かの方に楓
樹繁茂せし所ありて法華経
に薫じ霊の聖徳法の
まゝ激ぬるとありけり川勝に
命せて彼地に涼んでこれを
見るに彼處の様しれ人
瑕の歌を吹て太子八聖徳を見
まほしと申けるに彼の宮を蜂
岡のことに遷りて百済より渡し
仏像を安置し後に桂林寺
と號す秦公寺 香楓寺など
号後に廣隆寺と改廣隆八
川勝の名なり 延暦二年ぞ昌

浦の中興にして元禄の初に高辛子の高辛子室
相模守又これをあやまりの係あり
ものに付奥事解なれハ略之

○三角院　日大井川法月村の寺なり

元禄年間法勒仏堂係高
ものと東山法皇の御尼にて建武の
御願所なり寺号雲山号想念院
編山高院の庵ハ是想の跡

○要蓮山勝川寺　右同所

禄十刹の第三号なり法勒
号鹿永年好家義法云の

建立ハ云て開山ハ是想法師
○鹿王院　日本の寺なり
宗旨禄本号釋迦仏開基
号内法師好家義法云の和歌
ハて建立元亨の建立なり
右同所法月村の西
○智福山法輪寺　ちかなり石
宗旨禄号云本号虚空蔵菩薩
道号法師の祖天平の聖武帝
山建立て菖井ちと号貞観十
古の道号伊那中興て法輪と
法也。法陽ハ法華経ハ十二戒
の善男女とも例の三月十三日ハ

[illegible]

○大悲閣　嵐山の東の山上
[illegible]

大井川巖石を切て水を作り
[illegible]

[illegible]

○昊亀山天龍資聖禪寺　大井川東にあり臨済宗五山第
宗名禪寺の第一にして称西山
開基夢想国師弘安二年足利
[illegible]

[illegible]

○常寂寺　日小金山の麓
[illegible]

○小倉山慕蓮寺　日小金山にあり浄土宗
宗名天台十宗言律浄土兼学
本尊二祖小釈迦　当寺は
春日の[illegible]
の時[illegible]
と[illegible]
[illegible]
の皇子[illegible]

嘗て建立し雄勢と称せ
し法華堂に人間伝聞して
元人の作一字観音の七際を造
の八字千百八拾の人を刺せしと
なり。南北三間の地に法華堂に人間
の四方に月宮殿を造り下に人の心
新宮殿を造りて西に法華堂
宅摩に命じて上人法華堂に
なりし如き摩中に宮殿
うつしたる一方の是を知らず
而後は新たに上人を中に
大師に弟子平蔵の形をうつし
拝殿一宇を創造せしとぞ
て堂一宇あるとぞ

○三室寺往生院 日本小倉山小の様なり
寺名浄土清浄寺に属す本寺
阿弥陀仏立像に人平開基
良清上人なり

○妓王寺往生院 日本三室寺の小庵
寺名浄土尼僧住寺本寺
阿弥陀仏望像に人平清盛
妓王妓女仏刀自の像なり

○化師寺 日本小倉山小の様なり
浄土宗にて本寺
憲慶の化なり

○生ノ六道　日本法華験記の成立

宮内省御本尊地蔵菩薩立像二尺四寸四方の御堂の法地と生の六道と号ること堂冥土往生伝第四巻に行基の八宗の僧侶の墨書の東方に阿弥陀の三尊の墨書の八体の仏像あり

○中院殿記　日小倉宮定家卿の山荘の名　中の院町あり

本号殿記に八宗の僧侶の墨書の一巻の名あり当村也の一巻の名

○五葉山法華寺　日本小倉山の東　寺号五葉山法華寺号二秋地半下

宮内号云本号釋迦仏立像

五人坐分天竺毘首羯磨の作

三回会双の霊仏あり仏生世

うたしまる和の生成の号像

仏物利天ふたりの八竜王

此号像を毒梅樹をもて彫

ゆり祇園精舎を毒梅の仏

天竺ゆり沙弥の紀州号像

一通行して殿号

口の毒梅の仏

冷泉家号関及ひ仏

功行ゆ

○

○五葉山法華寺　日本小倉山の東

宮内号云本号釋迦仏立像

五人坐分天竺毘首羯磨の作

三回会双の霊仏あり仏生世

うたしまる和の生成の号像

仏物利天ふたりの八竜王

此号像を毒梅樹をもて彫

ゆり祇園精舎を毒梅の仏

天竺ゆり沙弥の紀州号像

知恩院の末寺なり細谷と云ふあり
佛入滅は祇園精舎にまします
宋の世に唐ちくにまいらせおはし
一条院の比宇治ちの庄法
奇瑞入滅し給ふ天慶の頃
感応し帰朝は
永延元年八月他土に
て法師ちと号す　此寺は法系
○大覚寺　日本大沢の西にあり
御門主　御領五拾石余
御宗旨言佛教に八五大乗
安置と色法大師の作　開基
八淳和帝第三の皇子恒寂法
師なり御代法親王御住職

○祥鳳山直指庵　日本高雄にあり
宗旨禅　黄檗流　本尊釋迦
佛坐像　開元和尚の法嗣
矣和尚の草創なり

○五位山法金剛院　日本双ヶ岡にあり
宗旨台密　浄土宗　番号四名
双丘寺又天安寺と号
阿弥陀仏坐像八尺　春日の作
此花八旧法華寺
なり毛男右府尾雄ちに
なりて伽藍を建らるを大
作の中行基門尾寿無なり

龍安寺の南東近の辺に
○一法山妙心寺 ちかごろ九百一石
寺号称太子号 釈迦佛坐像
二尺四寸斗 たゞ少拈花
微笑の相 花園上皇の御願
建武四年 卅創 開山関山慧玄
大徳国師の上足なり

日御室ちかく御修験者或衣来
○大内山仁和寺 けい御所 三号 南御室
御寺号 高言 金堂 本号 竹
経絵佛坐像 弘仁八年
御建立 宇多帝御願家
の始 延喜年中 御室を建立せ
られしより 又兼年の御門跡 出家

まゝ〳〵なれば出世よりかゝるべし
とゝんの御門跡の号の始りとゝ
御代〳〵法親王御号 始りなり

日本衣笠山の麓にあり
○万年山大聖寺 ちかごろ十石
寺号称 相国寺に属 本号
釈迦佛坐像 弘人余 宇宙を
最上 開基 義満 宗師 是
元 寺尼世所 長庵を 拾び 佛光
国師の塔所 とす 西脇庵と
号 ゝ 康永二年 ゝ 開基
修造 ゝ

日法衣笠山の麓にあり
○万年山等持院 ちかごろ百十石

字を称ずる地蔵菩薩の像
二人の子を生ずるを以て義の
開基を思想国師に託して
建立なり

○大雲山龍安寺 日蓮宗山の号あり
字を称ずる地蔵の石
字を称ずる開基
義天和尚文治年間細川勝元造
営して初め花園実雄公の別
荘なりしを勝元受て
墓山池を拡張せりいまふ
池なる清泉を湧かせり
て雪を地上に対し得れば
於字字字字字字

○鹿苑寺 俗称大北山村の乾
字を称ず仏号観音を称ず
陸仏聖像安置
義満の山荘を
る園を
金箔を
池を穿
半石を
して
一を法水流
とす寺二を潮音
○石山蓮華峰寺 叡山

宗旨を言律は仏祖の正伝なり
の別院あり慶長年中に武江の住人
桂口平左衛門再興して山号を
石彫の五智の如来聖像古人
なりなると安置し奉る
不動　観音地蔵弘法の石像
を安置し又草庵法華の祖師
この僧は木食の行者にて佛土の
名なるべし

○天王山妙光寺　日蓮宗
宗旨禅宗号釋迦佛座像
ちなみ寺　開基法性院尚

初八月十五日師僧の年忌なり
紀名妙光地蔵菩薩の石像列座と寺と
なり妙光稱号は沙弥金剛
の四地八うしろの山にあり印金
堂内八尺方ほどの金を押たれ
尚寺の寺の釋迦と

○五臺山般若寺　四尾村あかの山にあり
宗旨真言本尊文殊大士聖像
八寸の香獅子に乗人厨子中に安
但洋式に付彩色　本尊
阿弥陀仏聖像の人形　延宝
年中大江玄渕朝臣建立なり
開基観賢僧正仁和寺の末

○金映山三宝寺（日本西の山とあり）

宗旨法華　本尊釋迦佛立像

七人系運慶作開基中興院

日後世人作係と作るふと名有

富山の法仏像自作　○聞云

宅摩塚八三宝寺の門ふ名雄

勝侍の右ふあり

○福田寺（日本西ふ愛宕山ふ法あり）

宗旨浄土本尊阿弥陀仏坐像

世人ふ寺湛慶の作

○朝日山白雲寺（日本山とあり古作）　宗旨八接石

宗旨天台　本尊言葉学本尊ハ

毛宮天満宮　本地ハ

将軍地蔵の垂迹ハ

陰火の守護たり　初海地蔵

ゥ寺ふ祭る　本尊仁天皇の御宇

天慶元年　慶俊法師此山ニ開

勅住したまふ也

○鎌倉山月輪寺（日本山とあり本尊十八千手千ト）

宗旨天台　本尊言葉ハふの手

観音立像　本人千開基慶俊

法師中興　九条家の白大政大臣

兼実公より　祖師聖ふハ親鸞

聖人　月輪殿下　宣也　本人ふの

像あり。[illegible]おこたれのさま
古樹あり。[illegible]も拾ひ[illegible]
[illegible]

○高雄山神護国祚寺　[illegible]石

[illegible]仏立像
[illegible]
白檀[illegible]
御[illegible]
建立[illegible]
[illegible]寺と号　清和の御宇　天長
二年空海和尚[illegible]
今の[illegible]号[illegible]
とのりとゝして金剛[illegible]の額と

空海の書[illegible]と勅使を立させ
[illegible]も清滝川水[illegible]
此山のゆきて歩[illegible]勅使を立[illegible]
川のわたりふ[illegible]
[illegible]と空海[illegible]
[illegible]墨[illegible]
[illegible]て書[illegible]
[illegible]て額面[illegible]
寺の四字[illegible]
額書[illegible]て横門の[illegible]
陸橋ハ金堂の艮[illegible]鐘の
[illegible]ハ昔京の[illegible]卿[illegible]の[illegible]
橋の廣相[illegible]
[illegible]と世[illegible]三[illegible]と号し[illegible]朝の

名所なり。南山楓樹ひしめき
しく紅葉の法ハ珍敷の地なり
歌集にとゝよ此院庭中
より法流川とゆんなりとを者
とす

法和梅の尾のふち歴年名石

○槙尾山西明寺平等心王院

宗旨ハ言律なり釋迦佛立像
是人余以西方十人の他開基弘法大師
の直弟子智泉上人中興四恵律
師なり

法和梅尾村西の山麓なり

○梅尾山高山寺　ちかめ八石

宗旨華厳なり言上恵なる釋
迦佛坐像なり平一四尺人の作奉
なり南山楓樹ハ紅葉名所なり

菊を彩色の屏風の奉ゝ

○光悦寺

宗旨日蓮なり本門法光院の
営ゝ和ゝ

○源光院　たゞ不動あり

宗旨禅卍山道白禅師の開基
なり

○寂光山寺　たゞ不動あり

宗旨法華　檀林八ツ不の長
一なり日乾上人の作奉なり

俗号二薬師一
○薬師寺　摩ケ峯より
艮の山にあり
宇多天皇の時に
を安置し伝教大師の開基ふ
して比叡山八伽藍を建立
しつゝ今八尼ちとなりて小堂
○神光院　西加茂にあり
宇多天皇言仁の
弘法大師開基日本国
自化の後を安置す世に尼除
の大師と称ぶ雖破金剛堂
の為にあるなり

○霊泉寺　右日本にあり
宇多天皇の時に
上人の化度水屋の清泉ふ
して開基仏頂国にあり
○吉祥山正伝寺　右西の山にあり
宇多天皇の時に
巷東岩宏笠　同
岩窟　祥雲山　竹師
堂窟の周囲を高幸和
出川堂あり寧の八尼の
尼子寺岩に達る宝の地
あり法を秘する

○安尾山金峯寺

中宮跡より北紫合村の北

宗旨真言本尊不動明王の
尊像なり案此山ハ古霊場
の跡しよりて霊場なく開基ハ役
行者又弘法大師も此所に紀
密法を修しおはしけるとぞ

○大悲山定峯寺

日鉢あるの所にあり村奥

宗旨天台本尊千手観音
当山いにしへ丹波に属を山城
属するは代々詳ならず堂の後あり
および古冬の跡は丹波要田
跡大悲山の跡なりけくいふ

中比和尚大峯に毒蛇栖で
修験者の行人断絶を其の数
諸国の行者此山を恐ふびて
至らずなる此山甚一として
薩摩権の法を称法の法
今に猶あり更に法を属を

○松尾山鞍馬寺

日生嶋の小鞍馬山中にあり　号金剛寿院　本尊百家摂宕

宗旨天台本尊毘沙門天皇
立像なり案開基伝教和尚
当寺ハ延暦十六年大中に
度行勝人此人仏法に帰依し車宿
勝地をととめて精舎を営く
鉄吾と金勲せんとを常に

[illegible]ありあり夜首ふ法ふの
山岩に昇る勿論して白髪
の老翁あり[illegible]それ[illegible]いたく此
山ハ天下に隠れ形ハ三法ふ似く
常に移雲たなびく汝以ふ
法金を建立せば利益量
[illegible]なんぞ[illegible]文家の名とし
しふ王城の法護[illegible]の神
[illegible]なれども行
[illegible]の山も[illegible]びある日久
家に飼ふ白[illegible]ふ鞠と称ふ
[illegible]て四つ[illegible]古摩騰法蘭ハ
舎利像像と白[illegible]ふ[illegible]せ
[illegible]日ふ来[illegible]されハ白[illegible]ハ

[illegible]書たり汝定て首の化を
[illegible]て[illegible]て彼
白[illegible]と敬[illegible]ふ其[illegible]王城の
[illegible]る山に[illegible]茅の中に
止[illegible]ぬ[illegible]て此[illegible]と法
[illegible]て四山[illegible]ふ
おしもたぐ[illegible]も叢の中
ふ昆沙門の[illegible]像と[illegible]
一字と[illegible]て此像を安置
せりされと[illegible]を安せ[illegible]を
[illegible]ふ四[illegible]ひ[illegible]ぐ其夜の西
[illegible]ふ天童来りて曰汝[illegible]天
の像を以て文殊せ[illegible]ふ
[illegible]紙[illegible]多門天の名は

云れども同一神なりと云云
法勝寺八元亨年中の
あり又一宇と云てもよし紀
ものと安堂法皇の西の御書院
これなり二月初寅ふ法人糸
法ゆるしふ昆沙門天十種の
行をあらくたまふ祈願
愛人うやまつり明法ふ
荒のあるとわしる勢と縁
ゆるして所日法ゆるす人多し

○補陀落寺（月輪殺のふ市多有り）
俗号二ふ町寺
宗旨浄土宗云ふ
法花堂寺ハ空也上人こだう

法華経を写して納めしを
地蔵寺云ふ。堂中。二尊仏。鞍馬。
本願。より死葬の切ふして
墓寺のふ建立せし菴
るり庵ふ所四位の
の墓あり

○西念寺（上加茂堀の西橋法西例あり）
俗号二窪寺
宗旨浄土宗ふ打法住ぬ
東山花開春行春芙蓉山地
四しふ窪の浄土寺と称ぞ法
りしふ
しふ
あり

りてそうそかしのあとてなり
なるなり

日本史黒村西本の山にあり

○岩蔵山大雲寺

宗旨天台本尊聖観世音
立像弘法大師の作基の他開基
智証伝円融院の御願にて
天禄二年日蓮敦忠卿の建
立なり岩倉と号もとり寺八
桓武帝此京と草創のこと
法護のこと王城の四方に石龍
と金剛と絶と鎮ちたまへり一ケ所
なり今実相院門主
属と。此寺名高き滝有

法雨者此滝水まことでこそ
是強ありこそ

法雨者此滝水幡枝にあり

○大悲山円通寺

宗旨禅本尊聖観世音像
三人斗定朝作寺初八田元
院文英尼の宅地なり寺と
なりて所如心寺龍泉の祖室庭
禅師と開山とす法水尾院
御五位の所なり御行幸
なりへり城人年と属と

たかのの西御菩薩池

○地蔵堂　日村人家の間にあり

本尊地蔵菩薩立像七寸人斗

小野皇の御宮ゝ平相國清盛
の邸ゝよりて西光法師のいとな
みとて六地蔵ゝのこと也

法花寺　四百十五石余

○實相院御門跡

御寺号天台御代ゝ桜家方より
御住職法流園城寺法流義
なりて三井御門主の一寺なり

法花松ノ浦村にあり

○松ノ浦山妙泉寺

寺号法華法門立本寺に属す
開基日像上人当寺初ハ鎌倉
寺と号して山門の別院なり
御ゆゑ以安の法なり今の寺

改む毎年七月十六日の祝ひ村の
男女山寺の庫よりあつまりおのく
法華題目ととなへて踊をなす
これを歌目踊とゝ又月夜ゝ
ゆゑ名をとりて妙法の二字と題ズ

○松尾山本願寺

寺号法華法門立本寺に
属す開基日蓮上人
天正二ゝ世ゝと動ゝて当寺の
学室とゝす今に於て紀
伊國七ゝ法方の学徒なり

摂津之部

○上善寺　寺町勝る口北

宗旨浄土知恩院末寺

門徒仏堂像三尺余　彩色

の化開基春屋宗信上人

○萬松山天寧寺　日ハ下ル

宗旨禅開基祥山吉和尚

奥州天寧寺入寺

○寶樹山西園寺

宗旨浄土知恩院末寺

門徒仏堂像六尺余　平惠心の

化開基覚勝上人

○威王山長福寺　太日下の南

宗旨四宗兼学泉涌寺末寺

属寺本尊不動明王立像一尺

九寸　岩家の御仏なり

○光明寺　太日下修学院村南

宗旨浄土百万遍末寺　本

尊阿弥陀仏立像三尺余　慈

覚大師の作　空海入唐之時

尊中に抱止しものなり　抱止

の如来とゝづくとぞ

○蓮華山阿弥陀寺　太日所

宗旨浄土新宗寺に属せり
門徒仏堂像六人并仏法師の
仏四十八躰巡礼の寺十六番
開基法王丸。織田信長の生
害の時本能寺後を追つく
後清玉其坊に新き骨灰を
あつめ此寺に葬るとなり信長
信忠あるの墓を戦死の臣百
二十人の連牌あり

石田所南にあり

○華宮山十念寺

宗旨浄土永観堂に属す本尊
門徒仏堂像八人寺仏法師の
仏開基吉行上人永享十二年七月
二日に寂に遷命ありて寺の
川に葬る○六十六部打
寺の商弥陀堂なり。西寺什物の
中に一休和尚の仏自筆あり
佛鬼軍の図と云ふものあり仏
地獄と称す無比の要城と
なりなると書しものに又
足利将軍家の諸士念佛講の
名前帳あり

○佛陀寺

宗旨浄土猪林寺に属せり
本尊門徒仏堂像八人寺
恵心仏帝王系図に天慶六

年二月四日永禄ちょう天皇おん
佛陀寺為御しるしとなる
（右百間の南ゝ）

○廣布山本満寺
宗名法華開基日秀上人日
蓮宗廿一ケ寺の随一なり
（日蓮宗御門の南）

○光了山本禅寺
宗名法華勝劣派本尊金銅
乃釋迦佛立像一尺ゝ寺斗開基
日陣上人
（日訥の南ゝ）

○清淨華院
（俗浄華院ちなみ千石
ゝ）

宗名浄土宗のおちれうの一也
本堂ハ元祖法然上人の坐像と
安置を望ん寺斗阿弥陀堂
本尊阿弥陀佛坐像ゝ寺
斗恵心の作ゝ尚信ぜし
天台宗ゝて巻見大河の開
基なり初の地ハ今の上京町
烏丸の西ゝ切り内裏近ゝ
よりて内裏の物と移せる夫ゝ
山号ゝ号ゝ色中無法然
上人より第五世向阿上人ゝ
○廬山天台博寺
（略テ云ハ廬山寺ト）
宗名台密淳律兼学四箇の

本寺ゟ本尊師佛之像
三人聖徳太子の浄土世尊小屋の
革沙と称し為覚大師の開基
なりて中興の住僧心上人なり　あり付
仏寺ありてこれハ唐の恵達法
師ゟ入て廬山の二字と書て
住人和尚ハ奥ふまゝ廬山寺
と号ス

○遺迎院　日示の南にあり
寺領五十石
寺号ハ台密浄土宗四宗を兼ル
本尊ハ釈迦弥陀二尊佛の立像
と安置ス外ハ安阿弥
の作開基西山上人なり

○革堂　日衛作金阿弥陀
一号ニ行願寺　七仏釈迦
寺号ハ天台本尊ハ千手観音千体
寺立像ハ行願上人の作西国
第十九番の巡礼所又法隆の
釈尊ハ聖徳太子四番ゟ開基
行願上人。革堂と号ス行願
上人常ハ宮廻りとて毎日
革衣と称し皮ヲ着し人
ゟ革上人と号ス故ニ此号
ありて

○本誓寺　行西西山宗
寺号一向宗浄土宗一向専修寺

御門跡より絶所より本尊阿弥陀
如来像ハ恵心僧都の作此
本尊は寺治恵心僧都に安置
ありし所の本尊像なり本堂ハ寄
吉云小の所一所の仕様なり堂
内の西ハ持堂永徳の年之開基
詳ならず恵心僧都正中年中也より

妙塔山妙満寺　寺町二条下ル町

宗旨日蓮勝劣派なり開基
日什上人、永徳三年五月の建立
なり。当寺ハ紀州日高郡道成寺
の鐘あり其由縁ハ兵乱によつて
道成寺伽藍囲禄の後所々に

うつし遂に天正十六年紀州
新宮の某当寺に寄附し奉れ
ども鐘おのづから響さもなく
らんと称して鐘の声なし
ふるき所大いに震動して鐘より
火焔出る宜しき事しきりなり
止て新に一鐘を鋳たり則此鐘
堂内に置むとする又龍の鐘
不破ありしが後寺に今く今
八年になりしとぞ

○本山本能寺　寺町姉小路上ル

宗旨法華勝劣派開基日隆
上人宝徳年中の建立なり

○織田信長公の塔本意の東にあり　寺町三条上ル

○曼荼羅山天性寺
宗旨浄土知恩院ニ属す本尊
阿弥陀仏坐像恵心僧都の作
眼誉道三上人の開基なり

○矢田山金剛寺　同町三条より
宗旨浄土禅林寺ニ属す本尊
地蔵菩薩立像満米上人の
作開基同上人当寺ハ和州金剛
山寺の別院なり

○本山誓願寺　同町三条下ル　寺領六百五十石
宗旨浄土深草流義一本山なり
本尊阿弥陀仏坐像作ハ仏工
賢問子芥子国の両作也又春日
明神或時影向ありて扶助し
給ふ故ニ春日の神作ともいふ
仏前ニ無字の名号あり天智天
皇の宸筆なり脳内ニ五臓六腑を
遊す希代の霊仏なりて寺
古今ニ名著し本願ハ天智天皇
開基ハ恵隠僧都。塔中竹林院
ニ小堀遠州の数寄屋あり八ッ窓
の数寄屋とて世ニ名高し

○誠心院　誓願寺南ニあり　寺領拾石
俗号ニ和泉式部ト

宗旨戒律を言禅法相を学ぶ
泉涌寺に属ぶ本尊阿弥陀仏
堂像弘仁大師斗御堂関白道
長の草創ふして和歌の雑筆
の後此寺に住ぬ隆円と歌仙
れ塔あり生傳ふ紅梅の古樹
あり或説の恭しく本ゆゑ世
彩端の梅とふ

○清涼寺　右同寺の西

宗旨浄土を言ふ地蔵井像
八仁年彩色の仏ちふ番所を
和して造るとい今号内裏
常とあり〳〵たり有よ往常の

地蔵と称して信姓の婦人安産
とのるふ感應歳所ありとて

○長谷寺　俗人住の西向

宗旨浄土本尊十一面観世音
彩法大王の仏像ふ一三尊とふ
法隆寺巡りの第一番なり

○西光寺　右同ふ地蔵菩薩のふ

宗旨浄土禁戒ふ属ぶ号
菩提如来弘法大師の仏世尊
菩提とふ

○永福寺　右同地蔵菩薩を彩画
俗号清菩提　泉涌寺境内　菩提

宗名浄土園福寺小属本尊
薬師仏石像弘仁年作教王護国の造

○大本山象福寺　たいほんざんぞうふくじ
宗名浄土浄土宗流の一本寺なり
本尊阿弥陀仏立像四人半
法然上人の化両基西山上人と

○本山安養寺　ほんざんあんようじ
宗名浄土西山流浄土八幡巡りの
第四十六番なり本尊阿弥陀仏
立像弘仁年春日の神化なり
此尊像女人成仏倒蓮華の弥陀
と称ぜ[illegible]八幡の運

華と倒ふるを初め造立の記常
のごとくもるを多悪にして祈ること
三度ふ及ぶ相応して倒蓮華と
あるを破ることあり是列女人胸
中の蓮華を表して女人引接
の相とあるなり法深
寺院の勅願ふして両基八恵信
法の妹安養尼なり中興陰仏
上人なり

○了運寺　りうんじ　何宗浄土九所
宗名浄土知恩寺小属浄土
八幡巡の第四十五番なり本尊
阿弥陀仏坐像弘仁年恵心

彫刻の仏世尊像面貌相好彫那
一代制作の内最勝なり 法華経
堂比叡の[illegible]橋上の後の柱面に
二十五菩薩と彫刻自画れたり又
内陣の板壁に浄土九品を画き今
も清く斑に彩色り内陣四辺
天井に諸仏彫刻の菩薩なり両基
乗 響月心上人 今の上紀八年
十二世信譽 傳上人再建也

○錦陵山金蓮寺（号市屋寺 ちかい廿三石詳余 寺号協一）
寺号時宗本号阿弥陀仏座像
[illegible]斗両基浄瓶上人

○十住心院（ちかい所境内にあり）
寺号言本号地蔵井裸体立
像[illegible]人余弘法大師の作世号像と
深敬皇后常に信あり[illegible]
[illegible]建立[illegible]
[illegible]

○龍池山大雲院（寺町[illegible]）
寺号浄土和尚[illegible]
阿弥陀仏坐像[illegible]
の作両基[illegible]人天正の末に
織田信忠卿追福のため[illegible]
の命[illegible]剣あり大雲院

信仏の法号なり　　右日本の由緒

○多聞山浄教寺　　ちかく六石

宗名浄土知恩院末属にて本尊
阿弥陀佛立像三尺　春日の作也
佛檀内外の画図（ぐづ）も仏像の筆
なりとぞ中興立誉上人法傳四十八
所巡りの第四十二番

○聖光寺　　ちかく何後小路南

宗名浄土東山一仏信不属にて宗号
阿弥陀如来立像三尺余法傳
四十八所巡りの第四十三番
開基良阿上人

○法延寺　　右日所の南

宗名浄土知恩院末属にて本尊
弥陀立像の坐像二尺五寸
自作なり開基蓮生法師

○極楽院空也堂（右れの南）
一号二空也寺

宗名浄土知恩院末属にて本尊
阿弥陀佛立像三尺開基空也上人
天禄三年の第創なり四十八所巡
第四十一番なり。今四条坊門
油小路の西小路（そちたき）敲堂（たたき）あり極楽院
空也堂と号す開基空也上人の開基なり
以上四寺の号空也寺とたゝく

後れとなりて号とするものの為人
達を見たもまゝあんことをいぶし

○乗願寺　大内右馬頭

宗旨浄土一人信を属と四十八
願巡りの本尊弥陀如来
阿弥陀仏像弘法大師作　開
帥の作世尊像霊鷲山見る也
世尊歯佛と移ぞ

冥加祈願　徳五十

○愛山徳正寺

宗旨浄土宗本寺
属を代々百里小路家の猶子たり
本尊阿弥陀仏像弘法大師安置

仏を世尊衣鉢の弟子と称ず山門
初八宗兼学良恵阿闍梨　大膳職法の
お佛尊霊鷲山　雲音寺にて當寺
うつる　開基　源行光の裔井上
氏の末孫　花前寺遠仲　紙布問　芝井堀
寺中　慶山の流徒　此宗の繁昌する
と姫く親密至人の本廟を破却
ぜんとす　時に遠仲立京す走向
急追敗せしめ大功とする
を府法を革如人感賞有て　霊
徒を多の正化の本佛等を移して
他の法を浄土宗ゝ宗の山書と
なりよりの宗を教
と為る祖廟を守護を後也

あつて今の地蔵堂と称号し古例ふるしてゆゑふかき谷
祖翁の古蹟人たり又佛餐の前
ふ古井あり世ふ細川の井といふ
此地ハ細川侍従の亭宅にて因
ゆゑ名ハ毎夏ゆゑの湯ふ井水
と用ひらるゝ。毎夏命分
平ゆゑ郎入ゆゑの作地と海ゞ

（ゆゑ名ハ柳ゆゑ他入）

○佛光寺御門跡　ゆゑ名ハ百八十
此寺ハ浄土ゆゑ本ゆゑハ親鸞ゆゑ人
ゆゑ自作の坐像と安置し阿弥陀堂
本ゆゑ阿弥陀佛立像三尊ゆゑ
慈悲ゆゑ作の地　開基ハ親鸞聖人

ゆゑ佛ゆゑ人中興ハゆゑ源上人の代迄
ゆゑ人ハ二家前関白の法橋ゆゑり
して天ゆゑ聖ゆゑ教覚法親王戒師
ゆゑと号ゆゑ代ゆゑ傳西ゆゑ伝ゆゑる
初ゆゑ奥西ゆゑと号し後院御幸ゆゑ乃
御宮ゆゑ寺のゆゑ像霊佛たるゆゑ
ゆゑり奪ゆゑ（うばゝ）ゆゑのゆゑり祈ゆゑでゆゑと
誕事ゆゑ世ゆゑ二家河ゆゑ接ゆゑ
ゆゑぬゆゑ祈ゆゑり場ゆゑゆゑ敬ゆゑ帝
願ゆゑてゆゑし帝あゆゑしゆゑ
ゆゑのゆゑゆゑゆゑゆゑゆゑの弘法ゆゑの
ゆゑ明ゆゑり勅使ゆゑゆゑゆゑ西ゆゑ
奏ゆゑメゆゑゆゑゆゑ物ゆゑり因表
（ゆゑ）ゆゑゆゑゆゑゆゑ安ゆゑゆゑゆゑ後

南寺へ入しのち号と佛光寺
と名ふ又嶽部とも号て宇佐
王人の住所なりと清水山の付属
なりふ是南方山の付属

○平等寺

（松原通室町東
ちかし沢石
堂）

号二因幡堂一

宇多法言寺勢八天台宗獲院
御門主なり本尊薬師仏立像
古人作す基壇の上に在り
此寺係い天王祇園精舎の九院
の内療病院の古寺なりて釋迦
こづく彫刻なり是容ちなり
天徳三年周時岡望嶽清の西面
に移かくえ見る因司橋幼平卿

漁人に命して網を打しに海底
探しむるに光明赫奕たる薬師仏
と変じ玉ふ幼年にこれを知
る地に堂を建安置次幼年に因
司任国に下向しかばこれを
と伝く是地元に近幼年の居宅へ
此寺係忍性菩薩
けふ基壇のうれいあるに有合す
基壇の上に妻初しやうて館を
佛閣に造りてあり堂に是則
今の地蔵尊本尊八幼年の
の息光明福作と寺勢子兼
安元年四月八日に勅願
とたまひ平等寺と号し今の

堂ハ足利義教公の再建なり。又
同所なる船のひし紀に板元堂堂
彼ものゝ向なれハ皇家なる故
唐元ちなしいまゝ中なすと

○新居之寺（一号二南新堂）（ゆ修院西にあり）

宇多時宗天皇年中檀林皇
后の建立にて開基ハ弘法大師なり
中興王阿上人宗風とゝのらるゝ
阿弥陀仏之像之人年安阿弥作
初の本尊ハ信州善光寺の製と
掃形して おなじ仏ハ今坊中居之者
ありしなる像ハ今坊中居之者
永安寺にて御新造なりしなり

坊中小扇之折て 壺業とする
しなくあるとも 洋ものゝ昔
ものゝ名とて 御名いと家と
世なる名なり

○佛性山本覚寺（ゆ何方寺トル和 ち頂ら拾石）

宇多御宇弘和恩信小庵と本尊
阿弥陀仏之像之人安阿弥作
像と世小如法仏し 拾ど其迹ハ佛ユ
安阿弥造立の時清閑の一室小人漆
小部て 積密と ゝ 日小 戒之と止め
ゝ信 齋戒 相好衣裳 彼解
て御も 廉 照 ゝ
開基 玉菊上人

○壺竜山上徳寺　たかの郡の西向

宗名浄土宗　寺号阿弥陀
佛八幡仏開基伝教大人

○白毫寺速成院　たかの郡　ちかの八石五斗余
一号三尊子堂

宗名律　和州西大寺末　寺号八
聖徳太子の立像　南無佛の像　ハ
作りけるとの伝　開基行基
師の開基　初建院中門の
おのおのしるし　慶長の比
ふたたび水とのふ　古井　ほれり

○新宮寺　たかの郡　東向
一号二宋迎堂

宗名浄土　寺号阿弥陀
法佛　本尊阿弥陀
天皇の御宇　田義佛　作
石舟　国　作　新明王　開基　檀金
七寸　光　法　光　ちの　ると　揃
造　ちん　と　檀　と　揃
光の　ちち　ち　分　身の　号　仰　ん
作　り　世　国　ふ　寺　光　寺　の　号　像　と
同一　作　り　と　ふ

○賀列山蓮光寺　たかの郡

宗名浄土　寺号阿弥陀
法佛　本尊阿弥陀
の佛と　移　と　赤須　年中　高国

宗名浄土　寺号阿弥陀
法佛　本尊阿弥陀
天皇の御宇　田義佛　作
石舟　国　作　新明王　開基　檀金
七寸　光　法　光　ちの　ると　揃
造　ちん　と　檀　と　揃
光の　ちち　ち　分　身の　号　仰　ん
作　り　世　国　ふ　寺　光　寺　の　号　像　と
同一　作　り　と　ふ

○賀列山蓮光寺　たかの郡

宗名浄土　寺号阿弥陀
法佛　本尊阿弥陀
の佛と　移　と　赤須　年中　高国

の像は三門法師像と彩色ふ
成就し彼像山像と百年を経
さるる付寺行ぜらる像寄代なるとて
志ありて今一度洗ぎんとて遊ぜらる
終ふ山科の郷にて遊附けるとて行る
りてうの像笑と称げば寺行疾流して
此ふ仏を真ひ首と上れハるる称名仏
して二称寺三人参長の四ひとる
あるるとを西ふ見ふるる老今ふ
山科ふ貫ふの名称きる寺行の貫
うりしハ当寺のるる像ある雨巷
信参上人ちり。又嘗ちふ法登
今を馬止地蔵あり

○長講堂　ちやうこうどう

字名浄土西山派本名阿弥陀仏
坐像ふ人年恵心僧都法自行
法皇の法号創法華講偏念仏三昧
の四地法華半海念仏三昧半号

○市中山金光寺　しちうさんこんくわうじ

字名時宗名号寺
字名阿弥陀仏立像
立人寺宗新仏雨巷空也上人兼平
年中の名創るる注古比地市場
たるふ市色を傷ふ

○延壽寺　えんじゅじ

字名浄土西山光明寺属ふ名

三尊佛中央大日如来釈迦南北
両尊像八幡平運慶作之
なりて陸奥と文治元年
後白河帝御建立蓮華王院の
再興今宗實と上人中興
多人会通の事
○大平山宗泉寺
宗名禅林寺号釈迦佛開基
天正和尚寛西奉中興江戸代
多賀人豊後守建立城主
永平寺の末寺なり
東六條
○本願寺御門跡
浄土宗本山開基親鸞

聖人なり慶長七年十一世顕如
上人の嫡子教如上人開基の
台命と称し六町四方の境地を賜
此地にかひて新に建立あり祖師
より法代く血脈を授る故堂
本尊阿弥陀佛立像上人余安阿
弥陀仏作神君の牌を
安置次御影堂祖師自作の
本像と安置此像ゆゑに上宮殿
稱妙善寺と立て台命にて
宮山ふうつさしら法名なり又
枳殻御殿八条殿院殿台命にて
更に境地を賜り宮山別殿とす
此地は蔵人殿の旧跡なりと

石川丈山 [illegible] 玉林泉補造
して宮府の風光を[illegible]

○芳堂山金光寺 [illegible]
一号二七番[illegible]

宗名[illegible]宗相[illegible]法源光
寺号[illegible]本尊阿弥陀佛
立像一丈[illegible]用基他[illegible]
丈人山[illegible]伝師[illegible]宅[illegible]
しゅう丈人宗帰依[illegible]
して寺[illegible]

○城興寺 [illegible]

宗名形密禄律[illegible]
[illegible]

[illegible]
巡りの[illegible]寺八[illegible]
大臣信長公の[illegible]館の地[illegible]
永[illegible]中[illegible]殿下忠通公[illegible]
[illegible]して寺[illegible]
又信[illegible]と城興寺[illegible]
[illegible]

大宮西八条の南 [illegible]

○八幡山教王護国寺 祕密傳法院
俗に東寺又左寺[illegible]号ス

宗名[illegible]云 [illegible]寺[illegible]
弘法大師の坐像[illegible]佛法[illegible]
康[illegible]化[illegible]
坐像八[illegible]年 海[illegible]大日
如来坐像[illegible]年 用基八弘法

大師ゟ之ものと此尼ハ大内裏の内
砂臚鉢ホして呉國人来朝の時
食魚の所ゟ漢土の砂臚鉢ヲ
不空三藏ホたゝ(ゟ)て精舍を
営し例ホ準し弘仁四年
左寺と空海ホたゝ(ゟ)ひ右寺
と守敏ホ編ホ(ゟ)後大師建
立し給ひしゟ。金堂の
巽ホ五重の塔あり四方四弘
と安置と云ふ廿九間楼門
九ゟ四面天長三年勅ヲ以テ
建立と

○万祥山大通寺 八条ムーゲ立寺ハ号ゟ云
俗号尼寺

宇多ニ論ゟ言律義学ホ当
阿弥陀佛堂像ニ人宝冠ホ
少地ハ(ゟ)と云ふ五経基ニの後舎
ゟ(ゟ)と天徳年中薨ニの後
霊廟ヲ建ニ後源含右大臣
実朝ニの御室ニ住尼大徳
就ゟ(ゟ)ニ寺建尼ホ
尼ゟ(ゟ)ホ尼寺ゟ
云孫王ホ仏の上ホ神社の後医

○塩通寺 西ゟ(ゟ)の南ゟ
号ニ水薬師一
宇多ゟ(ゟ)ニ寺ゟ薬師ホ来
立像ニ人宗延ニ仏年ゟ
此所の本尊ハ水薬師と

[illegible]又堂の傍に清泉あり
[illegible]て名づくる所
[illegible]の清泉に手[illegible]
[illegible]て動やせしとて中興
[illegible]

○極現寺　日所[illegible]

宗名浄土宗[illegible]
門徒伝坐像[illegible]

○興正寺　西六条[illegible]門跡

浄宗名浄土宗本尊阿弥
陀仏立像[illegible]
[illegible]祖師親鸞聖人の

畫影を安置し常山初山科の
郷中にあり[illegible]
永徳三年門跡号を勅許あり
[illegible]

○常楽寺　大谷[illegible]　号常楽[illegible]

宗名浄土宗西本願寺[illegible]
本尊阿弥陀仏立像[illegible]
の仏[illegible]開基[illegible]
の始[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

○本願寺御門跡　西六條
市街三百石余

此寺浄土宗なり山門長
親鸞聖人本山重宗なり阿弥
陀佛立像なり余宗安阿法の作
開山堂祖師肖像彩色
像設なり余世像八重人の長
女覚信尼へ授与せしなり
聖人近化の後骨と細挽し
遺骸和し焼き骨灰なり故に骨肉
の新なり。祖師堂開山堂共
の府聚楽なりしと
云ふなり毛国上東
の宮　又云弁仙ふるもの

古法眼元信の筆なり開下部賢
國の小池に移植を巡りて常に
新と称べられ流泉池と云ふ
法成の法華経竜の反絵あり
作と求めて作るべし

○大泉寺　万寿寺と云ふ西河原角

宗旨浄土初祖法然上人なり
阿弥陀佛立像なり恵心の
人作宋朝作佛の作開基祥
なり中興光上人宗永七
○二月十七の夜本堂焼失の
要なり上人告あり
天正年間陽光院

[illegible]右の[illegible]像と[illegible]花陵の[illegible]
[illegible]号と[illegible]陵山と[illegible]又如来
の右の[illegible]
相[illegible]
[illegible]又祀[illegible]人花園の
[illegible]
の別[illegible]
[illegible]人[illegible]の[illegible]
[illegible]
[illegible]

坂川村東の南

○大光山本國寺妙法華院 [illegible]
宗[illegible]日蓮宗山[illegible]日蓮宗[illegible]人初八
相州鎌倉松葉谷にありて法華

堂[illegible]号と又永[illegible]八月[illegible]日[illegible]
始[illegible]月朗[illegible]所属[illegible]甲[illegible]
[illegible]
[illegible]日[illegible]
[illegible]日[illegible]
元年元明[illegible]
[illegible]本[illegible]中央法華経
日勝[illegible]
紀迦右多室[illegible]
[illegible]四菩薩立[illegible]
民部[illegible]定慶の作祖師[illegible]
日[illegible]人の彩[illegible]
[illegible]人の作[illegible]
[illegible]とねむ[illegible]
[illegible]人を佛あり往昔[illegible]人作

祐釈入道ゑ[illegible]ゑ[illegible]
[illegible]元
[illegible]
付[illegible]

○長圓寺　[illegible]

[illegible]百万遍[illegible]
阿弥陀仏[illegible]
の紀[illegible]慶[illegible]年
の草創[illegible]

○中堂寺　[illegible]所の[illegible]

[illegible]土[illegible]
[illegible]

阿弥陀仏[illegible]
初[illegible]山中堂[illegible]
[illegible]

○清命院　[illegible]

[illegible]
阿弥陀仏[illegible]
[illegible]
の[illegible]

○月[illegible]寺　[illegible]

[illegible]
月[illegible]
寺[illegible]阿弥陀仏[illegible]

子年造営の他に中興ハ明徳
初年なり

○寶幢院地蔵寺　俗に生寺と云
字名を言律寺と云て和銅年間の創
開にて本尊地蔵菩薩像
斗定朝の作なり当寺創ハ一条院
の御宇寛和二年にて開基ハ
快賢大僧都なり中興開基上
人毎月十四日大念仏
大念仏執行なりて行くの法楽
なるなり

○聖徳寺　俗に宝塔寺と云
字名を本願の西

字名を浄土宗にて門徒に属とす当
門徒開祖親鸞聖人の御真影
此他又たまたま浄土宗にて
勅願の寺にて八幡宮の
の付属銀の他に美術なるもの
寺にて五月八幡宮の祭礼

○東山天龍寺　俗に天龍の寺
字名を本願の西
余春日の他に桂武帝の勅願和
別に寺の宗創にて開基後
のそ例とて又中将宗方卿
勅にて分社の分霊書ふ
とむき住寺ふて寺とその

霊雀を[illegible]く此寺の鎮り榊
[illegible]と伝信の説智[illegible]ふる
[illegible]ありとて人

○休務寺　[illegible]

[illegible]西山[illegible]阿弥陀仏
立像[illegible]八幡宮の神体
開基貢空[illegible]林上人寛永十年の
[illegible]八形[illegible]

○紫雲山極楽院光明寺（俗号二宮也堂）

[illegible]の油小路西
[illegible]属[illegible]開基
宮也上人天[illegible]の[illegible]創
[illegible]門弥陀仏立像[illegible]人[illegible]人

自性の青[illegible]と安[illegible]と拝上人は
延[illegible]の[illegible]麿
[illegible]の[illegible]
く今[illegible]鞍馬の[illegible]
[illegible]康[illegible]
[illegible]上人[illegible]
[illegible]
[illegible]平の[illegible]遊[illegible]
[illegible]
[illegible]上人[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]上人の[illegible]
[illegible]

有髪の僧にて天竺仏の和尚とうたい芝市
新市市中之仏等八今番蔵
ゆうてち市に住し神仏とす

淵中移彩何の由
但し鬼子母神と云

○龍院　仏法寺末
宗門臨済宗妙心寺末属と云
本尊釋迦牟尼像一丈六寸弁財天
大師の作　脇本尊阿弗陀如来
脇甲に立て古備前の作
ゆうれいとなる事
弘法大師の作の剣もとゞ
初法和市出現

○山王寺　ひのもと坊つちなの由

宗門浄土真宗本願寺末属と寛永十七年
の寺創立の本寺門徒佛国長八
法奉ル人。境内本堂ハ
本尊十一面観音ハ聖徳太子の作
なる由本国化仏脇侍観音勢至の
才作と言ふ

○三宝寺　ふるてら

浄土宗西谷派本願寺末属と文明十六年
の建立なる由言ふ伝阿弥陀八幡
なる仏祖師二佛也門弟化や

中代重ねの西

○神泉苑護国寺　ちはやぶる石

宗門真言東寺末属と

善女龍王の社と池の中にあり
二重の塔六大日如来とかくるよす
池を法成寺池といひ元角表
の河辺池廣大にして天子御遊の
地なり左右に巨勢の金岡石と
寄て風えと狩ふ身服に法能と
呪して龍を入れ弘法に天竺の
三熱池の善女龍王と請し天下
旱魃の愁とたすけて慶感を
蒙り中ゝ小町に和歌を綴して
雨を降し賜ふ宮ゝとうけて
宮人に捕しむ帝御感の余り
ゆ位を授りしも此ゆすり又
白河院御願の厨物とつくり

ゆゑ此池中より金震稲
を方と分て土文れは法を物
の丸とり出御院に献り古源
判官義に此紙を傷る又弘仁
三年小野篁帝に奏おいく
能の高と位さる是能夏の初
建保の比より是を慶して江山
ゆりと文和の法尼業の信光雅
とり人に言ふ人言ふ人して再興し
言の道備るす

○順興寺　北之行　堀川の西

宗旨浄土宗西本願寺属と
本尊阿弥陀佛立像三尺五寸

春日仏殿奏八幡ちきハ世尊和
上人の長子千男寛俊上人と童名
行信れの名号とあり是八王山
の中鎌倉信也と石山寺和上人と
勅ときき所行上人拾ひ横岸の
ちかうしろ軍和て老急と乃ふ
ときふ味方の中より一士そろ山
所行を助け身代り成て討死い
上人の士と云ひ高綱の四天
より神中と入き道如上人の
名の字名号を負るに二つに
切れより行られハ顔のあり
おりを行られ高綱ふ所を
付賞とする

下立賣七ツ松の西

○清篤院

宗名浄土浄土毎院ふ属ふる
阿弥陀佛立像を人八寸作へり
源義経舎持佛なりと是八弘
巡りの中三番也爾奏八心誉
上人天正年中の建立なり

○西蓮寺　日所

宗名浄土浄土毎院ふ属ふる
阿弥陀佛恵心の作と又寺内に
銀杏巻あり十一面観音
立像ふ人年作の木佛黄桐恵
の作と云ふ奥人橋沢ぐ高待

仏ありと云ふ説あり其人慶
ありし開基なり西琴と人明暦三の
建立なり

初名を信濃の水の南

○松林寺

宗名浄土宗属を本願
阿弥陀仏立像なり人皆是を
の他開基法印上人天正年中の
事創なり又薬師寺なり祇園
金殿を此所法印の所為
事例なり又観音なり人
為母堂の時祈願なりしか
本尊薬師なり

十万ばかりの水

○観音寺

宗名浄土宗属本願
門徒佛立像なり人寺号慈眼山
の他開基方琴梅林上人慶長年
今の建立又境内観音堂あり
本尊立像なり人寺号安門徒
の他應永年中渡辺のなる
山名市氏世祖なり初祖諸
人を助く説あり迦の中世古人

七十水

○福聚山慈眼寺

宗名禅尾分名尾万松寺属
本尊聖観音なり人寺号

延喜の比浄蓮水なるのかたわらに同木
月付の比開山八大尊を永福和尚
御開信仏云の御願作を未陸奥守殿
の本願にて建立し

生水道の西

○福陽寺　ちかい石

字名を云言也宝塔を属し
本尊を動明王業師仏二体を
安置し浄蓮法師の作

西の一立ア立堂ア

○華厳院

字名浄蓮法師を属し本
尊阿弥陀佛坐像を人寺法師
法如堂本尊自木尊者

元天台宗なりて開基瀧山寺の
皇子四宗尊師守良親王(ふかし)
たまい法近和尚号し初安居院
あ近の宮と言ふ(あぐゐ)
十年宗城寺の浄尊坊流頭
寺の阿天台と法華宗吉水の
流と礼阿上人東向阿弥陀
代の法孫尚信の三世を嗣(つぐ)又
浄尊院と開く。元亨の比伊勢
寺良信僧正開尚信の
本尊の示現を彫り元亨
の御書とれ後一尚院の授戒
ありて寄ると称の
を称りしとも

○祥雲寺

宗旨浄土禅林寺光明山の属にして阿弥陀仏
立像なり年号不詳開基和尚開基と

○開生寺

宗旨浄土真宗本願寺の属にして阿弥
陀仏立像なり年号不詳開基の比
丘尼乃ち尼寺なり堂あり聖徳太
子自作の尊像を安置せり世に
伝ふ太閤明帝浮屠の

所なりと今の人いのちの山祖
なりて参詣の人多し

西の系は右の通
下の系の通

○東光寺

宗旨浄土知恩院の属ス本尊
阿弥陀仏立像なり年号不詳
の作山号豊国の毛無松の長
法寺と人海依し夫を玉敷
敷たりたりたる必ず(ずい)の中に入
たりたりたる陣伊しし宮敷村
伊も移す

○法華寺　右門河

宗旨日蓮宗武州池上門末

屬て西部の仏寺の異隣のたち
日像上人一宇の開祖法華寺
古人の記録に寺号のしるしとなる
寺の経堂に安置の日像大菩薩
中古ひしかの山門をこの所に法
廻りつゝ極楽寺たちの
当寺不詳伝し一日像の青年
たまひ大菩薩西岳のうそ
ちくと立住寺と号く多伝て
寺のちよ建立をもつて
和て今ゝ再建し

○新園寺　古刹の南に隣る
宇内寺領五百石の屬にて

阿弥陀仏立像三尺半恵心の作
又本堂に観音地蔵を安置し去
て恵心の作世に伝る八元江の雷田
山の利陀に有しを伝せあり
主堂堅牢地神の祠
山頂に有て八幡宮を
此地に安置し地蔵
所に五輪塔を同所に
海寺せんとの同堂を
社殿の地部より

古刹所在の

○善門寺　俗三映山記寺と云
宇内寺領五百石の訳言聖像

一丈六寸の梅檀の石像
慶の作古仏拝殿の間基源
丈八面の内陣の宝像
面寸小映山仏御殿
高一尺五寸

○真如山立本寺　内裏
宗旨日蓮　後円教院の御宇
建立開山日像上人妙法蓮華
の二字を山号に
号真如山

一尺の西ちれい
○釋迦如来　薄法華寺
宗旨浄土　本尊阿弥陀仏坐像

一丈六寸の釈迦如来宝暦四年横川の院の
御宇勅命にて建立　開通
上人建立

○清和院　ちれい所
宗旨真言　本尊釈迦
寺院の行幸ありし所
丈移し清和帝勅願所

○宝樹寺　ちれい一丈六寸
宗旨浄土　本尊阿弥陀仏
門徒陸佛立僧上人　基元法師
乃祝　開基浄長上人

○祇園院　法住寺　小坪三坐所

寺号を言うなり山を属とする
本尊は観音菩薩の化身法皇御手彫

○西方寺　大日本

寺号天台坂本西塔属なり
阿弥陀仏を本尊とし

○大雲山西光院　西の京正面通二条下

寺号浄土律宗阿弥陀仏本尊
十人会通因長函使人
陽明家の臣之延宝三乙酉と辞し
ゆえ[illegible]て法号を賜
と言んとて[illegible]精舎
と新[illegible]

の[illegible]大仏殿の洞法と本仏なられ
[illegible]仏像の[illegible]形清涼[illegible]法人
寺号[illegible]
山西京洞仏法[illegible]
中の[illegible]今の親鸞[illegible]
[illegible]人[illegible]これ[illegible]
好因[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

冷泉院にて[illegible]
の中に[illegible]
[illegible]

少僧都の家

○[illegible]山西寺

家[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

浄行寺の西河

○安倍山大部寺

家[illegible]
阿弥陀仏[illegible]

世[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一条[illegible]の東

○恵[illegible]山浄福寺

家[illegible]
阿弥陀仏[illegible]
[illegible]

[illegible]

○[illegible]院

家[illegible]
[illegible]

如一國師ゟ

○東光寺 浄土宗 神奈川宿

宗門日蓮宗國ゟ末屬開基八
日安上人宗門八見村武蔵ノ
法華宗式拾弐世の後ゟ代室女
尼ゟ寺迄稱のたゝ建立仕ル

○無量寺 ゟ宮の小相町

宗門浄土宗末屬仕ル
阿弥陀佛立像弘人善光寺作
弘人新造ゟの寺寺

○瑞龍院 元和之新寺城門の小
号二村 雲洞庵 御代ゟ百石

浄土宗ゟ法然門ゟ
乃毎ゟ瑞龍院尼ゟの寺創ゟ
ゟの後ゟ尼ゟ
中ゟ二寺
ゟ寺ゟ

○般舟三昧院 今玉川ゟ本の寺
田ゟ一ゟ般舟院 ゟ所百ゟ石

宗門天台ゟ宗法華ゟ
ゟ阿弥陀佛坐像 弘人平 慈覚
大師の作 開基 恵篤上人 号宝
号一園 慈和尚 ゟ
内ゟ場ゟて 帝王御代ゟ号
牌ゟ

○北向山[illegible]寺

[illegible]本尊[illegible]立像
[illegible]法師の[illegible]
開基[illegible]の勅願[illegible]

○金山天[illegible]寺

[illegible]

○[illegible]山大[illegible]寺

[illegible]
[illegible]
[illegible]佛像[illegible]
[illegible]

義空上人貞應年中の開基

○宗隆山石像寺

[illegible]
[illegible]
阿彌陀佛立像[illegible]
の浮彫又[illegible]石彫の地蔵
[illegible]立像[illegible]
の他[illegible]

○[illegible]光山本隆寺

[illegible]開基[illegible]

○松[illegible]寺

[illegible]

阿弥陀仏ハ高三八尺計有之
の仏開基ハ行基上人ハ千八百年
第十番ゆ

○高野山引接寺　ちかのとをあり
又号大光山教学院又俗ニ鳴滝ト云
宇多天皇の御願ニ而ハ
八人定朝の仏ハ像有之ハ
願れ佛所家定朝仏又ハ
定朝重テ加彩ト書ス一説ニ仏
官法橋ヲ位ヲ
方丈ヲ
校を
これを
賢神ニ

ものゝふ山の西
○金剛山品蓮華寺　ちかの石塔
院号九条三條院又号蓮華
宇多天皇ニ云有る地蔵菩薩の像
三八尺五寸五体ニ
法皇作ゆ

○龍寶山大徳寺　ちかの
宇多天皇ハ
の開基ゆ
作ゆ
人日列
門ハ
方丈の門ハ
山内塔頭名

○新橋寺　安居院

宗旨浄土宗本尊阿弥陀仏開基不詳寺号は新橋山と号す

門徒庵佛之係之人寺役約五拾

世話係八中村雅雪庵山居宗の

寺号なり開基不詳

之人世話係八新宗の寺号なり

○圓通山興聖寺　小川の水天宮近よ

宗旨禅妙心院　本尾張西胡

寺号禅妙心院　本尾張西胡

の勅願所なり寺号新西山又遠

度の係を安西院世話人中毒

借貸盤の他新感妙想寺世

なりしなり　若寺号虎の巻所

開基八虚庵和尚なり

○卯本山妙蓮寺　小川の水天宮近よ

宗旨日蓮宗　開基不詳　ちかい石

の付属不祈願の寺なりして日蓮

上人自筆の法華曼荼羅あり

浄光厳寺の沙門不天下大

乱でなり寺なりとして桂川の

重不祈願を多感ちなく

大願教日なぶ日蓮宗

の寺とのひしこと

○大今剛山大應寺　新町をとは新古西

宗旨天台宗　祥寺号云

紀伊の国に係る開基虚空蔵菩

○慶昌山　古号　法寺　ちかし石

宗号日蓮宗　建立開基日親上人

比丘尼御所　ちかし　小川西

○寶鏡寺　宮殿高貴の方々　百々御所上云

御宗号浄土宗　開山　住

○真光天山　小川の西　拔寺

宗号浄土宗　本尊阿弥陀仏　門徒佛堂

の他開基明泉和尚　浄土宗　紀

慶誉上人　浄土の一宗を改め当ち

の付あり　明陶脩の筆　虎の画

あり　緊要なり

て　ちかし　殺生

時虎の絵　ちかし

○具足山妙法寺　新所及法船

宗号日蓮宗　開基日要上人

○具足山妙顕寺　ちかし　小川上　ちかし一石

宗号同　開基日保上人

比丘尼御所　ちかし　小川上

○光照院宮　御殿　ちかし石

孝謙天皇御所　ちかし

浄宗号浄土宗　開祖本覚

祥尼　開山

抑本室所有

○羽休山光明院

宇多帝寛平年号桓武帝延暦役
行者の作山像八毛宮山の開基度
修行る天狗を調伏のあ
本種の義より感応をもつて
地蔵とす

比叡尾寺所　彩所の上人石の図より
○三時　入口御所　○宝鳳寺　御願百尼
御寺号浄土宗当時御母上
尼

○宝蓮院　上京本所　御願立
永代の御寺号
御寺号浄土宗門跡
堂像三尊弁慶作
先八城陵墓号墓永代御

○大聖寺　鳥丸上立売
御寺御所　御願立
御寺号浄土宗当時御母
今出川鳥丸東　ちかの宮の社
○萬年山相国寺　兼天禅寺
宇多帝寛平年号
堂像三尊弁慶作
徳三年相国義満の建立
菩提寺

○利生院　鞍馬口二条上
一号布袋菩薩

宗旨天台本寺　業師仏聖像
のまもる　たち　御仏　ぼさつ　業師
なり　ぶつ　いの　仏名　仏名　ぶつ
業師　と　ぶつ　ら　ぶつ

○法泉寺　抑　ら　仏　抑　ぶつ　の　面

宗旨浄土　ぶつ　本尊　阿弥陀
ぶつ　属　本尊　行基菩薩作　観
ぶつ　の　仏　当　ぶつ　と　行基　角
之坊　と　号　宗旨　祖　聖　の　宗
法有　仏　仏　の　仏　ぶつ　親
聖人　関　ぶつ　ぶつ　仏　の　後
くぶつ　ぶつ　て　宗　月　の　法
ぶつ　法　ぶつ　法　ぶつ　化

しぶつ　ぶつ　も　ぶつ　ぶつ　当　寺　之
ぶつ　法泉　の　井　ぶつ　名　井　あり　往昔
聖人　止住　の　所　ぶつ　山　井　と　称　しぶつ　ぶつ
水　知　ぶつ　ぶつ　石　と　称　ぶつ　ぶつ　ぶつ
虎　の　仏　ぶつ　ぶつ　ぶつ　ぶつ　ぶつ　ぶつ　ぶつ　ぶつ　ぶつ　虎　石　と
ぶつ　ぶつ　ぶつ　ぶつ　ぶつ　ぶつ　ぶつ　ぶつ　ぶつ　ぶつ　ぶつ　ぶつ　ぶつ　祖　廟　の　と
ぶつ　ぶつ　ぶつ　ぶつ　ぶつ　ぶつ　ぶつ　ぶつ　ぶつ　ぶつ　ぶつ　ぶつ　ぶつ　記　ぶつ　ぶつ
ぶつ　て　ぶつ　ぶつ　と　虎　ぶつ　ぶつ　ぶつ　ぶつ　ぶつ　ぶつ　ぶつ　ぶつ　ぶつ　ぶつ
ぶつ　ぶつ　ぶつ　ぶつ　ぶつ　ぶつ　ぶつ　ぶつ　ぶつ　ぶつ　ぶつ　ぶつ　ぶつ　ぶつ　ぶつ

○那珂寺　たりぶつ　ぶつ　例

宗旨　ぶつ　ぶつ　同　しぶつ　本宗　ぶつ　ぶつ
属　と　本寺　門徒　仏弟　同　奉　八
仏　ぶつ　宗　ぶつ　ぶつ　属　ぶつ　ぶつ　ぶつ　府

[illegible]方法師[illegible]ほ[illegible]西[illegible]
八代貞法[illegible]の[illegible]人の[illegible]
○又当寺の什宝ふ三天像あり
[illegible]像○中檀紙[illegible]作[illegible]
[illegible]つ[illegible]あり[illegible]て天[illegible]の精[illegible]
[illegible]種[illegible]の像[illegible]
天又の[illegible]像と[illegible]
[illegible]旋右旋の[illegible]と形の[illegible]
[illegible]渾天像と[illegible]
[illegible]天像と号[illegible]
[illegible]て[illegible]
[illegible]寺[illegible]
日三天像を[illegible]
[illegible]人[illegible]これと[illegible]

万里小路三条の西
○桂山宮寺
[illegible]
[illegible]属と[illegible]
の[illegible]
[illegible]の[illegible]
故[illegible]て桂を[illegible]
[illegible]人[illegible]の[illegible]
[illegible]人の遺[illegible]
[illegible]桂宮[illegible]
[illegible]一宮と建[illegible]
[illegible]と改[illegible]
○[illegible]山通玄寺[illegible]院
[illegible]

御寺号得給ひしかとも廣河
原あり之落院の石碑
の後住なし御所より庇廣
したりひて好事とす毎年
毎月廿八日法会を修し
たりとか。又世花を初
るの住を移す

六角堂
○頂法寺
号六角堂

寺号を天台宗と言号号椎井
御門主乃主而之と寺号知恵
輪観世音の御一体八分聖
巡礼十八番札所洛陽巡礼
らくらくもの 開基八百年

当寺縁起おいとくしの寺の絵
往昔法師岩屋に光
あり漁人網をあらしめ 糸の
唐櫃を拾ひ上げ櫃の上に正覚
如来観の御像一体浮上日本の王
家と書せりよりて内裏ふ是を
拾ひ上げ 上の方へ見たまひ
是いかゞ前生七母の持ち物と
号歌 寺を作り給ふ
時に移分四天王と建んと
我本と思ひ給ふ
此処と山城拝領の車宮とい
ふ此堂と御祠 寺号
法号ふ口号のんと彼号絵と

[illegible]の[illegible]ふりけるを法[illegible]て像を
[illegible]ふりて[illegible]て新れ
[illegible]ば[illegible]夜[illegible]の名
[illegible]の[illegible]
[illegible]七世[illegible]又此地[illegible]同[illegible]
[illegible]ハ[illegible]此[illegible]て永[illegible]
[illegible]せん[illegible]の[illegible]ふ[illegible]
[illegible]て云[illegible]像ふ
[illegible]毎朝[illegible]
[illegible]れ[illegible]ひ[illegible]
[illegible]ど[illegible]の堂[illegible]建
[illegible]二百[illegible]年[illegible]
[illegible]武寺[illegible]
[illegible]官使[illegible]

[illegible]の中[illegible]
[illegible]も[illegible]建立の[illegible]
[illegible]ん[illegible]
[illegible]も[illegible]ふ
[illegible]
[illegible]年[illegible]の方[illegible]
[illegible]と通[illegible]
[illegible]。此[illegible]の[illegible]
[illegible]屋[illegible]
[illegible]と[illegible]
[illegible]ふ[illegible]
[illegible]山[illegible]の[illegible]
[illegible]ふ[illegible]
[illegible]の[illegible]